



芭蕉が訪れた象潟。その後、地震で隆起し陸地化した秋田県にかほ市

象潟や雨に西施がねぶの花
汐越や鶴はぎぬれて海涼し

象潟(きさ) 祭(まつり) 禮(れい)
象潟(きさ) 雨(あめ) 西施(せいし) 花(はな)
汐越(しほこし) 鶴(つる) 海涼(うみすず)

「故ある」事にや。此寺の方丈に坐して簾を捲げ、風景一眼の中に、南に、鳥海天をさへ、其陰うつりて江に有。西八、むやうの関路をかきり、東に、堤を築て、秋田にかよふ道遙に、海北にかまへて、波打入るゝ所を汐こしと云。江の縦横一里ばかり、俤松嶋にかよひて、又異なり。松しまはわらふがごとく、象潟はうらむがごとし。さびしさにかなしびをくはへて、地勢魂をなやますに似たり。

奥の細道

松尾芭蕉

古典の日 十八 象潟



江山水陸の風光数を屈して、今象潟に方寸を責む。酒田の湊より東北の方、山を越、礮をつたひ、いさごを踏て、其際十里、日影やかたぶく比、汐風真砂を吹上、雨蔭靡として、鳥海の山かくる。闇中に莫作して、雨も又奇なりとせば、雨後の晴色又頼母敷と、蜃の苦屋に膝をいれて、雨の晴るを待。其朝天能晴て、朝日花やかに指出る程に、象潟に船をうかぶ。先是因嶋に舟をよせて、三年幽居の跡をとどらひ、むかふの岸に船を

新編日本古典文学全集第71巻・松尾芭蕉集②『紀行・日記・俳文・連句編』(小学館刊)から転載。校注者・井本農一、久富哲雄

魂をなやます風景



「松島は笑ふがごとく、象潟はうらむがごとし」とは、芭蕉先生、さすがにうまい。いまでもJR東日本がそのまゝ観光広告に使える科白ではないか。(一)で「つむ」とは「怨む」や「恨む」ではなく、むしろ愛する、愛いに沈むの意味だという。だから芭蕉はうらむにつけて「寂しさに悲しむをくはへて、地勢魂をなやますに似たり」と書いた。さらにもみことな言葉で、日本海につながる「縦横一里」のこの汽水湖の愛い顔の美を讃えたのである。ひと月余り前、快晴の日を訪ねた松島はたしかに、太平洋に向かってひろがる湾に大小あまたの島々を浮かべ、美人西施が笑いかけるような明るい風景だった。それに対し、六月十五日(陽曆七月三十一日)から十八日までの酒田・象潟往復の旅は、前半は雨にたたられ、後半はようやく晴れた。「雨蔭靡」の景から「朝日花やかに指出る」までのうつろいを経験して、象潟のいつその趣の深さを知ったのである。

芭蕉はこの歌枕の地を、松島のときと同じく西湖を詠んだ蘇東坡の「晴レテ偏二好シ三雨モ亦奇ナリ」の句を踏まえて叙景し、重ねて能因法師の歌や西行の「象潟の桜は波に埋れて花の上漕かあまの釣り舟など触れ、いわば美辞を尽して礼讃した。その上で東の松島の晴明と対比させ、傷心の西施のおもかけを思い浮かべて「地勢魂をなやますに似たり」と結んだのである。和漢の詩歌のこの重奏の上に、アルト独唱の Aria のように歌いあげられるのが「象潟や」と「汐越や」の二句。雨に濡れて葉を閉じた水の辺の合歌の花のすがたに、眼を閉じて憂いに沈む西施の美しい映像を重ね、その楚々として艶な哀感こそが雨の象潟の風情だという。そして「汐越や」の句は、これを一段と琳派風に仕立て直せば無村の「夕風や水青鸞の脚をうつ」となるのだらう。象潟のこの多島湖は百十五年後の文化元年(二八〇四)七月十日の直下型大地震によって一八メートル余り隆起し、往年の風情を失った。それでも象潟はいまなお美しい。この芭蕉の詩文の記憶のあるゆえに。

芳賀徹さん とたずねる おくのほそ道

親しむ

草創期の茶人も関心深く
古典といふことばを改めて考えた。調べてみる。と文学以外の様々なジャンルに古典という言葉は



武者小路千家家元後嗣 千宗屋さん
式を充分踏まえかつその後生み出される表現の展開を充分予想させる、規範性を有した作品にその名が冠される。が、自然科学の分野で「古典」といった場合に

草創期の茶人も関心深く

「更級日記」は平安時代中頃に書かれた一地方官の娘の回想記で、作者は菅原孝標女です。「源氏物語」に憧れ続けた少女時代。時を経て受領の妻となり39歳の時、長谷寺(桜井市)に参籠のため旅に出ます。永承元(1046)年10月15日、夜に京を出发、大和大路を南へ、正午頃、宇治の渡りに着きます。宇治の渡りで舟を待つ間、牛車の簾を巻きあげてつくづくあたりの景色に見入り、「紫の物語に宇治の宮のむすめども事あるを、いかなる所なれば、そこにしも住ませたるならむとゆかしく思ひし所ぞかし。げにをかしき所かな」(「源氏物語」)に宇治の宮の姫君たちのことが出てくるが、宇治はいったいどういう場

は時代遅れの、かつて真実とされてきたがその後書き換えられてしまった過去の知見を指しているらしい。そういえば、人間を指して「古典的な人」といった場合には自然科学のそれに近いニュアンスが含まれるように思われる。茶の湯においてもその草創期から古典への関心は深い。千利休の師、武野紹鷗は、和歌の大家三条西実隆卿より藤原定家も心寄せる古典である。

文学ウォーク



宇治川西岸から宇治橋をのぞむ(宇治市)

所柄ゆえに、作者はここに姫君たちを住ませたのであろうかと前から見たいと思っていた所です。ほんとうに趣深い所ですね)と大君・中君・浮舟の生き方とまわりの風景とを重ね合わせながら物語を思い出しています。今、宇治橋三の間から上流を眺めると兩岸の緑の山々と豊かな水の流れが千年の時を忘れさせます。朝霧橋の上からの眺め、夕空を背景にした平等院や輝く川波を東岸から見渡す時いっそう趣深く感じられます。(NPO法人・都草 藤井 節雄)

憧れた宇治十帖の舞台に見入る

「なが——い、おつきあい。」 京銀 定期預金キャンペーン

新たに100万円以上、期間1年以上の「スーパー定期」「大口定期預金」(いずれも「店頭表示金利」「自動継続型」)をお預け入れいただいた個人のお客さまに

もれなく特選品または観光・グルメプラン利用券プレゼント! (本キャンペーンの対象となる定期預金のお預け入れ限度額は、お一人様合計3,000万円までとさせていただきます。)

Four columns (A, B, C, D) detailing the campaign terms and prizes. Column A: 100万円以上 200万円未満. Column B: 200万円以上 300万円未満. Column C: 300万円以上 500万円未満. Column D: 500万円以上. Each column lists specific prizes like gift sets, towels, and travel vouchers.

細則 (定期預金について) ●当行本店で新たにお預け入れいただく定期預金に限らせていただきます。... (特選品について) ●B・C・Dコースの特選品は、受注生産のためお預けまでに相応の日数を要する場合がございます。... (観光・グルメプランについて) ●観光・グルメプラン利用券には有効期限(平成22年8月31日(火))がございます。... (その他) ●金融情勢の変化等により、当行の判断でキャンペーンの内容を変更、またはキャンペーンを中止させていただく場合がございます。

